

JAY® J3 バック

お客様へ的重要なお知らせ

お知らせ： この取扱説明書は、本製品をお使いになる方にお伝えしなければならない重要な注意事項が含まれています。
この取扱説明書は、エンドユーザーの方に必ずお渡しください。

供給者： この取扱説明書は、本製品をお使いになる方に必ずお渡しください。

使用者： 本製品をお使いになる前に、この取扱説明書をすべてお読みになり、大切に保管してください。

取扱説明書



皆様の声をお聞かせください

この度は、J3バックサポートシステムをお買い上げ頂きありがとうございます。この取扱説明書、製品の安全性や信頼性、サンライズ正規販売店のサービス、お客様からのご質問やご意見がございましたら、下記の住所・電話番号まで、お気軽にお問い合わせください。

サンライズメディカルジャパン株式会社
カスタマーサービス
〒349-1145 埼玉県
加須市間口456番地1
0480-31-6480

ご質問は

正規販売店は、製品をよく熟知しており、安全性、使用、メンテナンスに関する質問に答えることができます。今後の参考のために、以下の項目を記入してください：

供給業者： _____

住所： _____

電話番号： _____

シリアル番号： _____ 購入日： _____

知っておくべき追加情報

天然ゴムラテックスを使用した製品はございません。

**廃棄・リサイクル情報**

本製品が寿命に達したときは、お住まいの地域や国が指定する回収・リサイクル拠点にお持ちください。本製品は様々な材料を使用して製造されているため、一般家庭のゴミとして廃棄することはできません。車を廃棄する際は、地域の法律や規則に従って適切に処理してください。本製品に使用されているほとんどの材料は、リサイクル可能です。廃棄時に製品を分別回収してリサイクルすることは、天然資源を保護し、環境に配慮した方法で廃棄することにつながります。

上記の推奨事項に従って製品の廃棄を手配する前に、お客様が製品の法的所有者であることを確認してください。

日本語

はじめに……………	3
一般的な警告事項……………	4
使用方法&お手入れ……………	5
車いすへのバックサポートの取り付け…	6
取り付け&調整方法……………	7
アクセサリ……………	8
保証……………	9

サンライズメディカルでは、J3 バックがお客様のニーズに合っているかどうか、シーティングやポジショニングの経験が豊富な医師やセラピストなどの臨床医にご相談されることをお勧めします。バックサポートの取り付けは、サンライズメディカルの正規販売店で行ってください。

JAY J3 バック

Jay J3 バックは、適切に背中をサポートするという重要なメリットを、さまざまな使用者に提供するために設計されています。シンプルで快適かつ効果的なサポートを提供し、機能を最大限に引き出し、より長い時間座われることを目的としています。さらに、軽量で耐久性があり、使いやすいのも特徴です。

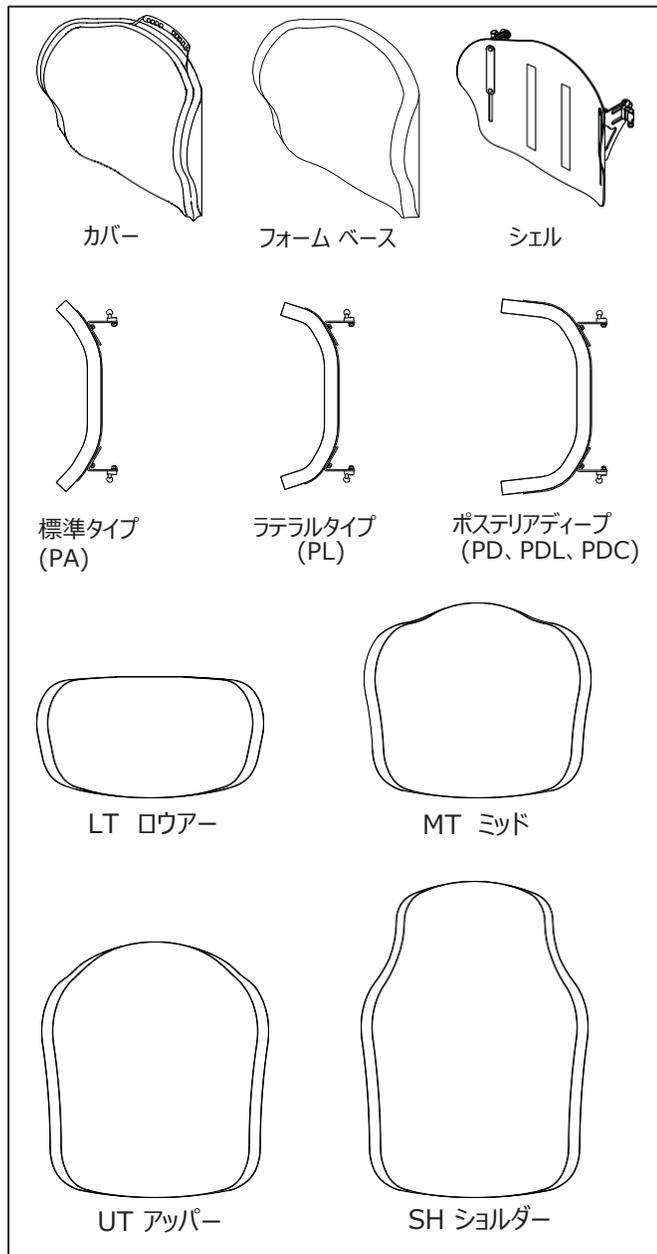
耐荷重：

136 kg

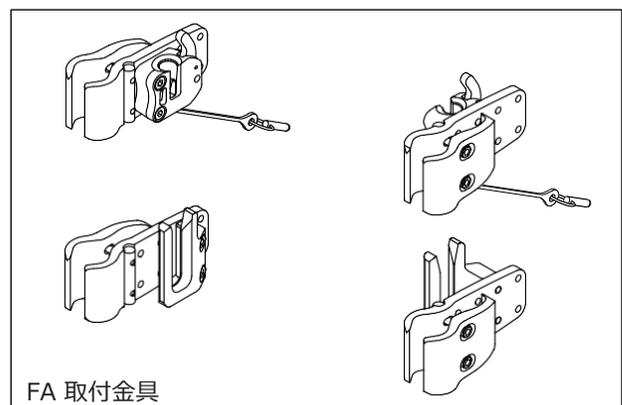
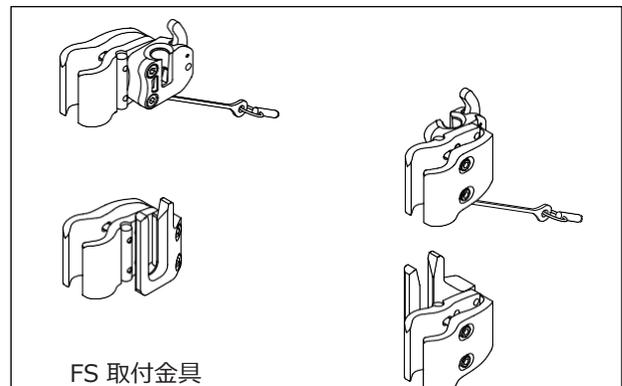
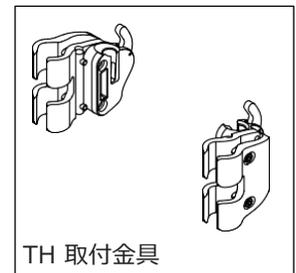
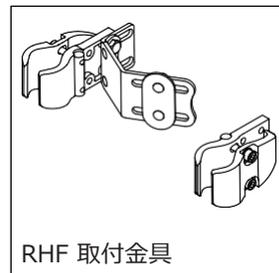
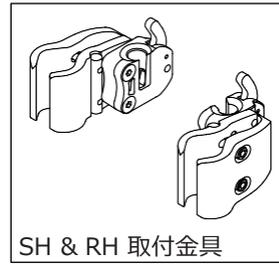
227 kg - 22" (55.88cm)、24" (60.96cm)、
26" (66.04cm) 幅の場合

J3 バック

ミッド (例)



J3 バック 取付金具



A. 重心位置

警告

車いすにバックサポートを取り付けると、車いすの重心に影響を与え、車いすが後ろに傾いて使用者が怪我をする可能性があります。

B. 転倒防止

警告

転倒防止は、通常の状態では車いすが後ろに転倒するのを防ぐことができます。

1. サンライズメディカルでは、転倒防止の使用を推奨しています。
2. 車いすやシーティングシステムの安定性を高めるために、車いすに追加できる転倒防止や下肢切断者用車軸アダプターブラケットの必要性を常に評価してください。

これらの警告に従わなかった場合、車いすの破損、転倒、制御不能が起こり、使用者や他の人が重傷を負う可能性があります。

C. 押す・持ち上げる

警告

J3 バックを使って車いすを動かしたり押したりしないでください。

1. J3 バックのハンドルで車いすを持ち上げないでください。これはバックサポートの取り外しのみを目的としています。
2. 押ししたり引いたり不適切な使い方をすると、バックが車いすから不意に外れることがあります。

これらの警告に従わなかった場合、車いすの破損、転倒、制御不能が起こり、使用者や他の人が重傷を負う可能性があります。

D. 互換性

警告

J3 バックは、以下の例外を除き、ほとんどの車いすに対応するように設計されています：

1. リクライニングやティルトなどの角度調整が可能な車いすで、背角度が垂直から60°以上になるもの。

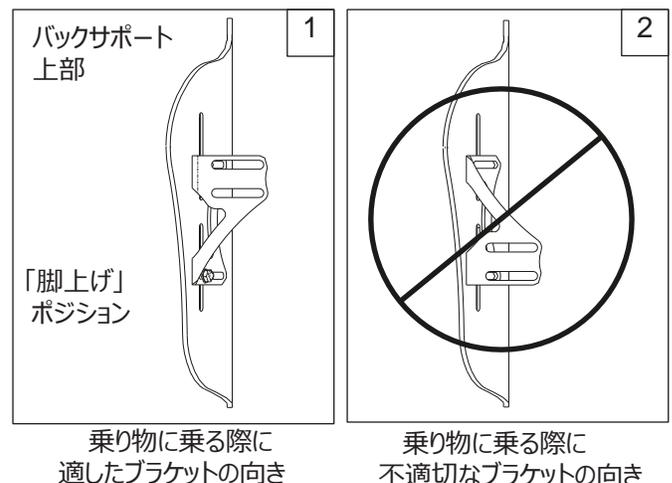
J3バックをこのような車いすに使用すると、バックサポートが車いすから誤って外れることがあります。その結果、転倒したり、使用者や介助者が怪我をしたりする可能性があります。

E. J3 バック 乗り物での安全性 1 2**警告**

J3バックは、自動車での使用を想定した動的試験を実施しています。このシステムは、ANSI-RESNA WC-20に準拠しています。J3バックを走行車両の中で使用する場合は、ANSI/RESNA WC-19の性能要件に適合した車いすに取り付ける必要があります。使用者の安全のために、このマニュアルに記載されているすべての設置、使用、保守の指示と、以下に記載されている輸送の指示に従ってください。

1. もし可能であれば、車いす使用者は車両の座席に移り、車両に付属するシートベルトを使用してください。
2. 使用者の肩の上部とバックサポートの上部の間の距離は、6.5インチ(16.5cm)を超えないようにしてください。
3. 車いすは、自動車の座席としての使用に適していることを示すラベルが貼られ、ISO規格7176-19の性能要件に基づいた動的試験が行われ、製造会社の指示に従って設置、使用、保守されていなければなりません。
4. 元々付属していた車いすシートを別のものに交換した場合、新しいシートは車いす移動用として承認されたものでなければならず、製造会社の説明書に記載されている通りに取り付けて使用しなければなりません。
5. 車いす固定および使用者の身体固定システム(WTORS)は、特定の車いすに適合し、製造業者の指示に従って使用され、ISO規格10542の性能要件に準拠している必要があります。
6. 自動車走行中には、車いすは必ず前向きにしてください。
7. 走行中に使用者が怪我をする可能性を減らすために、車いすに取り付けられたアクセサリ（トレイや呼吸器など）は、取り外して別々に固定してください。
8. 本製品は、耐荷重 35~136kg、22”(55.88cm)幅サイズ以上の場合は 227kg までの大人が使用することを想定しています。
9. ISO規格16840-4に準拠していることが表示されていない限り、走行中の使用者の身体固定を、骨盤ポジショニングベルト、体幹前方サポート、体幹側方サポートなどの姿勢サポート機器に頼ってはいけません。
10. 製造会社に相談せずに、車いすやシーティングシステムの構造、部品、構成部品を変更したり、代用したりしてはいけません。
11. バックシェル取付ブラケットは、車両に乗る際には必ず「脚上げ」の状態を取り付けてください。(下記参照)バックサポート取付金具の正しい取り付け方法については、該当するセクションを参照してください。

これらの警告に従わなかった場合、車いすの破損、転倒、制御不能が起こり、使用者や他の人が重傷を負う可能性があります。



▲ 警告

本機器の所有者は、医療従事者の助言のもと、認定販売店によって本機器が設定・調整されたことを確認する責任があります。また、定期的な安全性や機能のチェック、使用中の調整が必要な場合もありますが、これらは所有者、介助者、または希望に応じて指定販売店が行うことができます。

A. お手入れ方法 & お洗濯

1. 適切なお手入れとお洗濯は、機器の性能を向上させ、耐用年数を延ばすことができます。
2. 定期的に製品を掃除をしてください。そうすることで、緩んだ部品や磨耗した部品を見つけることができ、機器をより使いやすることができます。必要なものは、中性洗剤と掃除用の布です。
3. もし緩んだり、磨耗したり、曲がったり、破損した部品を見つけた場合は、**バックサポートを使用する前に**交換してください。

B. 重要な安全確認

1. 留め具：

サンライズメディカルでは、**6ヶ月に一度**、ボルトの緩みや部品の破損などの摩耗がないか、すべての留め具について確認することをお勧めします。緩んだ留め具は取付説明に従って締め直してください。

2. 部品の交換：

速やかに正規販売店に連絡して、部品を交換してください。部品の緩みや破損を確認した後、システムを継続して使用しないでください。

C. 簡単なお洗濯 3

1. バックサポートのカバー

- a. Velcro®(ベルクロ)を外して、バックシェルからカバーを外します。カバー底面のファスナーを開けます。
- b. フォームを取り外し、カバーを裏返します。
- c. カバーのファスナーを閉じて、引っ掛からないようにします。
- d. 温水(50°)で、洗濯機洗いをします。
- e. 自然乾燥もしくは低温で乾燥機を使用します。

注意 - カバーをドライクリーニングしたり、工業用の洗濯機や乾燥機を使用しないでください。スチーム加圧滅菌しないでください。漂白しないでください。洗濯表示は上記のとおりです。(表3)

2. バックシェル

- a. バックシェルは、定期的に石鹼と水で拭いて、汚れを蓄積させないようにしてください。

3. ポジショニングパーツ

- a. 部品を一つずつ取り外し、再設定するのために配置をメモしておきます。
- b. ポジショニングパーツは、石鹼と水できれいに拭き取ることができます。
- c. ポジショニングパーツを水の中に浸さないでください。

D. 取り外しと交換 4

取り付け/調整後、必要に応じてバックサポートを車いすから簡単に取り外すことができます。

1. 取り外し：

- a. 両方のリリースレバーを前方に押し、取付金具のロックを解除します。(画像4)
- b. 両方のレバーを前方に倒したら、バックサポート上部にあるハンドルを使ってバックサポートを真上に持ち上げます。

2. 取り外し後の正しい再設置

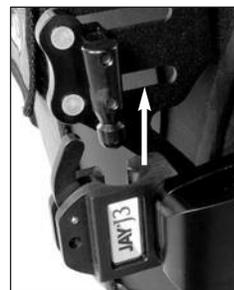
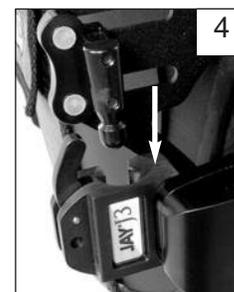
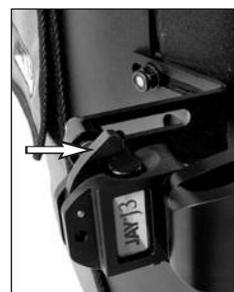
- a. バックサポートを再設置するには、ピンをレシーバーに並べます。
- b. バックサポートを押しレシーバーに固定します。
- c. 正しく差し込むと、ピンは「カチッ」と音を立ててロックされます。

3. ロックピン

ロックピンは、バックサポートが車いすから不用意に外れることを防ぐ安全機能を備えています。

- a. ロックするには、ピンを取り付けレシーバーに挿入します。
- b. クイックリリース機能が必要な場合は、ピンを取り外してください。

洗濯表示		3
	温水で洗濯機洗い (50°)	
	必要に応じて非塩素系漂白剤のみ使用	
	自然乾燥	
	アイロン禁止	
	ドライクリーニング禁止	



▲ 警告

「カチッ」というロック音が確認できない場合は、ハンドルを使ってバックサポートを引き上げ、確実にロックされていることを確認してください。

これらの警告に従わなかった場合、製品の破損、転倒、制御不能が起こり、使用者や他の人が重傷を負う可能性があります。

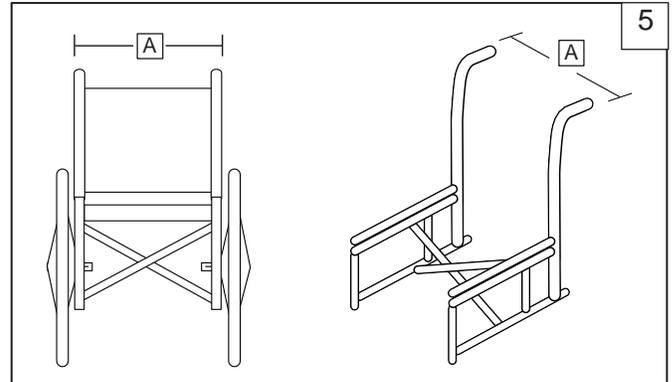
⚠ 警告

本製品の所有者は、医療従事者の助言のもと、認定販売店によって本機器が設定・調整されたことを確認する責任があります。バックサポートおよび取付金具は、定期的な安全性および機能の確認が必要な場合があります。調整は、正規販売店で行ってください。必ずサンライズメディカルが推奨または承認した部品や付属品を使用してください。

J3 バックは、以下の例外を除き、ほとんどの車いすに対応するように設計されています：リクライニングやティルトなどの角度調整が可能な車いすで、背角度が垂直から60°を超えるものは、J3バックシステムを使用しないでください。

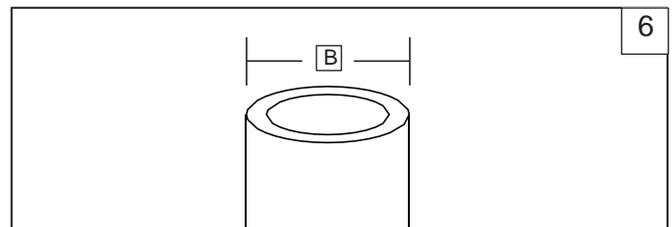
A. 車いすの寸法 [5] [6]

- J3バックは、車いすの背布の代わりに使用するものとして設計されました。取り付ける前に、使用する車いすのバックポストに互換性があるかどうか、バックポスト間の幅を（図5）のように測定し、確認してください。
- 次にバックポストの直径が適合しているかどうかを確認します。J3 バック 取付金具は、3/4 インチ(1.9cm)から1 1/8 インチ(2.85cm)までの車いすのバックポストに取り付け可能です。バックポストの直径を測り（図6）、表2を参照して、バックポストが適合することを確認してください。
- バックポストが適合するかどうか判断できない場合は、サンライズ・メディカル社の正規販売店、またはサンライズ・メディカル・カスタマー・サービスまでお問い合わせください。



	バックポスト幅 (バックポストの外側から) 反対側の外側まで (A)			
	最小 インチ	幅 cm	最大 インチ	幅 cm
12"	11.7	29.7	14.3	36.3
14"	13.7	34.9	16.3	41.3
16"	15.7	40.0	18.3	46.4
18"	17.7	45.1	20.3	51.5
20"	19.7	50.1	22.3	56.5
22"	21.7	55.1	24.3	61.7
24"	23.7	60.2	26.3	66.8
26"	25.7	65.3	28.3	71.9

* バックサポート幅は商品番号で特定できます。
例：商品番号 J3PAMTS **14** SH は、14" です。



	バックポスト直径 (B)			
	最小 インチ	幅 cm	最大 インチ	幅 cm
12" - 26"	3/4	1.9	1 1/8	2.85

A. J3 (SH, RH, RHF, TH) 取付金具

取付ける前に、以下の説明をお読みください。J3バック、2点式金具を取り付ける場合は、使用者に車いすから一旦降りてもらってから始めるとうまいでしょう。バックサポートを取り付けたら、再び車いすに座っていただき微調整を行います。

1. 必要な工具 (J3バックに付属) :

- a. 4mm 六角レンチ
- b. 10mm コンビネーションレンチ

B. バックサポート取付金具取り付け方法 7 8 9 10 11

1. 既存の背もたれ部品を取り外す

- a. 車いすメーカーの説明書に従って、既存の車いすの背もたれを取り外してください。
- b. 既存の取付金具や部品を取り外します。

2. 取付金具レシーバーの位置決め

- a. バックシェルには、取付ブラケット (A) が付属しています。
- b. バックポスト上の最適なクランプ受け位置 (B) を目視で確認します。取付金具は、左右のバックポスト上で、ほぼ同じ高さになるようにし (図7)、シートフレームと平行になるようにします (図8)。

注意 - 設置位置は、一般的にバックポストの高いほうが良いとされています。

3. 取付金具レシーバーの取付方法

- a. 4mm 六角レンチを使用し、クランプのネジ(C)を緩めます (図9)。

注意 - チューブ径が大ききときは、クランプのネジを完全に取り外す必要がある場合があります。

- b. 車いすのバックポスト (D) にレシーバーを取り付け、位置を合わせます。
- c. クランプのネジ(C)を手で締めます。
- d. レシーバーは、適切なアライメントを確保するために、さらに横方向の調整が必要な場合があります。

4. J3バックシェルの取り付けと位置合わせ

- a. 10mm レンチを使って、ブラケットのナット (E) と取付金具側のナット (H) を緩め、取付金具が自由に動かせるようにします。
- b. 左右の取り付け用ピン (F) をそれぞれレシーバー (G) に差し込んで、J3バックを取り付けます。
- c. バックサポートの位置は、車いすと使用者の両方を相対的に見て、おおよその位置にします。
- d. 取付ピン(F)の内側にあるボルトを締めます。推奨トルクは100-110 in/lbs (11.3-12.4 Nm)です。
- e. すべての部品が正しく配置されたら、取付金具のネジ (C) を約75~85 in-lbs (8.5-9.3 Nm) のトルクで締め付けます。
- f. 仕上げにロックピンをレシーバーに挿入し、着脱する動作を数回繰り返すとその後スムーズに行えます。

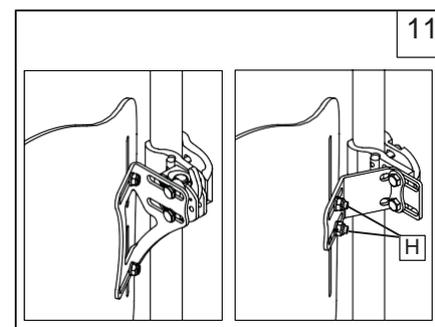
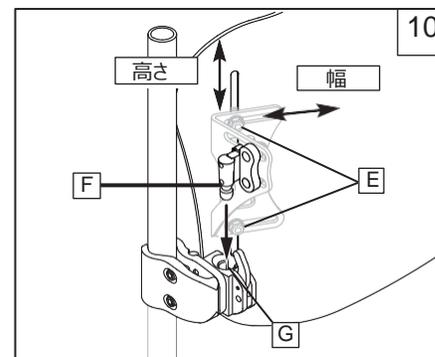
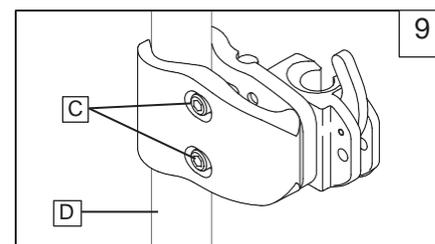
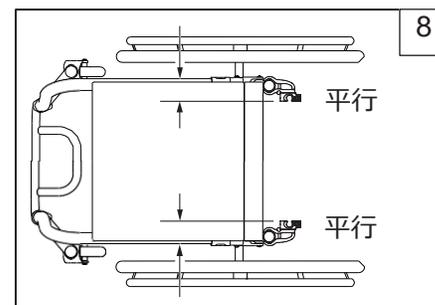
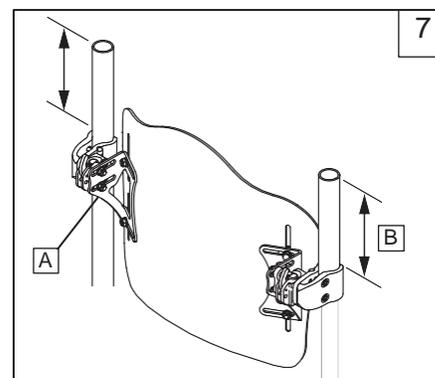
注意 : バックサポートの奥行きと角度は、使用者に適切にフィットするよう、さらに調整が必要な場合があります。

5. J3バックシェルへのRHFハードウェアの取り付け

- a. 4mm 六角レンチを使用し、クランプのネジ(C)を緩めます。(図9)

注意 - チューブ径が大ききときは、クランプのネジを完全に取り外す必要がある場合があります。

- b. 車いすのバックポスト (D) にクランプを取り付け、位置を合わせます。
- c. クランプのネジ(C)を手で締めます。
- d. クランプは、適切なアライメントを確保するために、さらに横方向の調整が必要な場合があります。
- e. バックサポートの位置は、車いすと使用者の両方を相対的に見て、おおよその位置にします。
- f. ピンアセンブリーの代わりに、クランプ金具は (図11) に示す金具 (H) でバックシェル取付ブラケットに直接取り付けます。
- g. 推奨トルクは100-110 in/lbs (11.3-12.4 Nm)です。
- h. すべての部品が正しく配置されたら、取付金具のネジ (C) を約75~85 in-lbs (8.5-9.3 Nm) のトルクで締め付けます。
- i. 仕上げにロックピンをレシーバーに挿入します。



C. J3 (FS & FA) 取付金具 12 13 14 15 16

取付ける前に、以下の説明をお読みください。J3バック、4点式金具を取り付ける場合は、使用者に車いすから一旦降りてもらってから始めると良いでしょう。バックサポートの取付け、微調整が終わってから、車いすにお戻り頂きます。

1. 必要な工具 (J3バックに付属) :

- a. 4mm 六角レンチ
- b. 10mm コンビネーションレンチ
- c. 5/8" コンビネーションレンチ

2. 既存の背もたれ部品を取り外す

- a. 車いすメーカーの説明書に従って、既存の車いすの背もたれを取り外してください。
- b. 既存の取付金具や部品を取り外します。

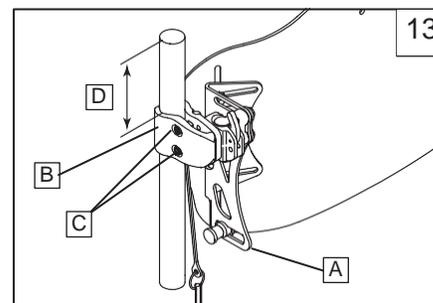
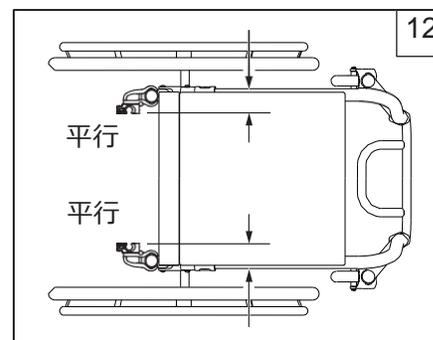
3. 取付金具レシーバーの位置決め

- a. バックシェルには、取付ブラケット (A) が付属しています。
- b. バックポスト上の最適なクランプ受け位置 (B) を目視で確認します。取付金具は、左右のバックポスト上 (D) で、ほぼ同じ高さになるようにし、シートフレームと平行になります。(図12)

注意 - 設置位置は、一般的にバックポストの高いほうが良いとされています。

4. 取付金具レシーバーの取付方法

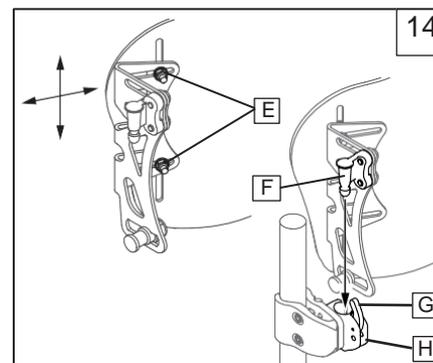
- a. 4mm 六角レンチでクランプのネジ (C) を緩め、クランプレシーバー (B) をバックポストに取り付けます。

**3. 取付金具レシーバーの取付方法** 13

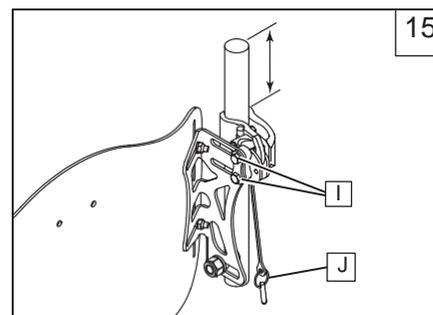
- a. 4mm 六角レンチを使用し、クランプのネジ (C) を緩めます。

注意 - チューブ径が大きいときは、クランプのネジを完全に取り外す必要がある場合があります。

- b. 車いすのバックポストにレシーバーを取り付け、位置を合わせます。
- c. クランプのネジ (C) を手で締めます。
- d. 10mm レンチを使って、ブラケットのナット (E) (図14) と取付金具側のナット (I) (図15) を緩め、取付金具が自由に動かせるようにします。
- e. レシーバーは、適切なアライメントを確保するために、さらに横方向の調整が必要な場合があります。

**4. 取付けと上部取付金具レシーバーの位置合わせ** 14 15

- a. J3バックをハードウェアレシーバーに次の方法で取り付けます。
左右の取付ピン (F) を左右のレシーバー (H) に挿入します。
- b. バックサポートの位置は、車いすと使用者の両方を相対的に見て、おおよその位置にします。
- c. 取り付けピン (I) (図15) の内側にあるボルトを、100~110 in/lbs (11.3-12.4 Nm)のトルクで締め付けます。
- d. ブラケットのナット (E) を締め付けます。トルクは、75-85 in-lbs (8.5-9.3Nm) です。
- e. リリースレバー (G) を前方へ押し、車いすからバックサポートを取り外して、着脱を試してください。スムーズな着脱が可能であれば、取付金具とバックサポートのアライメントが正しいこととなります。
- f. アライメントが正しく行われな場合は、正しくアライメントされるまで部品を調整してください。
- g. 正しい位置が決まったら、取付金具レシーバークランプのねじ (C) を、75-85 in-lbs (8.5-9.3 Nm) のトルクで締め付けます。
- h. 仕上げにロックピン (図15) (J) をレシーバーに挿入します。



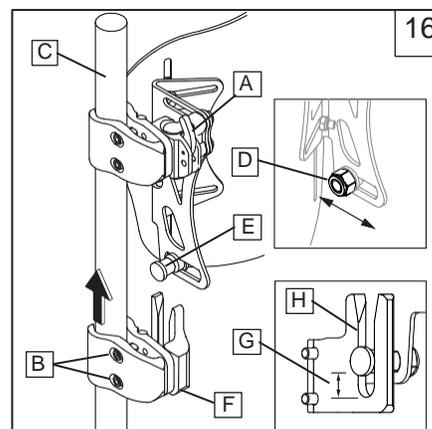
5. 取付けと下部取付金具レシーバーの位置合わせ 16

注意：上部および下部取付金具がシートフレームと平行になるように配置されていることを確認してください。

- 上部取付金具のバックサポートの着脱を確認するには、リリースレバー (A) を前に押しつけてバックサポートを車いすから取り外してください。取付金具とバックサポートの適切な位置関係は、バックサポートアセンブリのスムーズな着脱で判断することができます。
- 必要に応じて、バックサポートの着脱がスムーズにできるようになるまで、微調整を続けてください。
- ネジ (B) を緩め、下部レシーバーをバックポスト (C) に取り付けます。
- 5/8インチのレンチを使い、下部取付ピン (E) を固定しているナット (D) を緩め、前後にスライドできるようにします。
- 下部レシーバー (F) を、下部取付ピン (E) を囲むように上にスライドさせます。

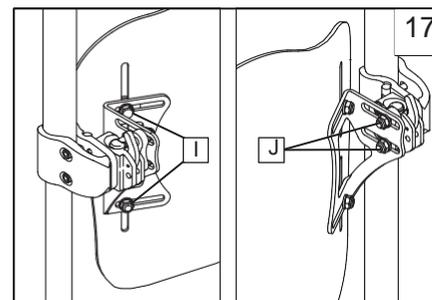
注意 - 下部取付ピン (G) の底面と、下部レシーバーチャンネル (H) の底面の間に、1/8インチ (0.32cm) から1/4インチ(0.64cm) のスペースを空けてください。

- 正しく位置合わせができれば、ハードウェアレシーバークランプのネジ (B) を締めます。推奨トルクは、75-85 in-lbs (8.5-9.3 Nm)です。そして、下部の取り付けピンナット (D) を、100-110 in-lbs (11.3 - 12.4 Nm) のトルクで締め付けます。
- 仕上げにロックピン (図16) (H) をレシーバーに挿入します。



6.機能チェック、高さ・奥行き・角度の微調整 13 14 15 17

- J3バックを上下の取り付け金具に取り付け、アセンブリがロックされるまで押し下げます。正しくロックされると、カチッと音がするはずですが。
- バックサポートの着脱がスムーズにでき、マウントに正しくロックされるまで、必要に応じて微調整を続けてください。
- 高さ、奥行き、角度の微調整を行うには、ボルト (I) と (J) を緩めてください。すべてのボルトを必要な仕様に締め直し、バック機能とクイックリリースのテストを行います。



D. J3の高さ、奥行き、角度を調整する 17 18 19

初期設置が完了した後は、車いすに座った状態で、さらにフィット感を高めるための調整を行うことができます。取付金具を規定のトルクで完全に締めるまで、使用者がバックサポートに完全に寄りかからないように注意してください。

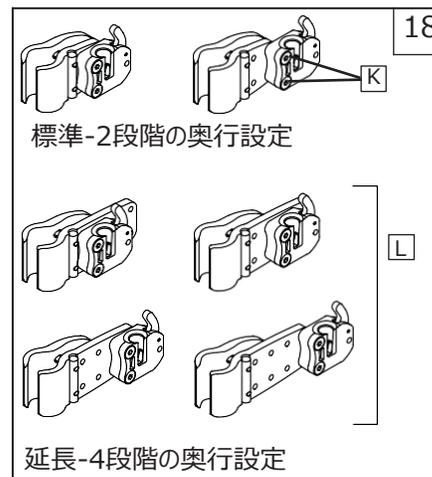
1. 高さ調整

- 使用者が車いすに座った状態で、バックサポートの正しい高さを確認します。
- 使用者に少し前にずれてもらい、10mm レンチでナット (I) を緩めます。
- 正しい高さに戻し、ナットを 75-85 in-lbs (8.5-9.3 Nm) のトルクで締めます。

2. 奥行き&角度調整

奥行き調整は、ご注文の取付金具の種類によって異なります。リジッド、リジッドフィックス、テイルハードウェアなどの標準的なハードウェアは、約2インチ(5cm)の奥行き調節が可能です。延長取付金具 (調整可能) は、最大3.4インチの奥行き調節が可能です。

- 10mm レンチを使って、ブラケットスロットの左右の六角ネジ (J) を緩めます。
- 奥行きや角度を調整し、ネジをしっかり締め固定します。推奨トルクは、100-110 in-lbs または(11.3--12.4 Nm)です。
- さらに奥行きが必要な場合は、J3バックをレシーバーから取り外してください。4mm の六角レンチを使ってネジ (K) をレシーバーから取り外し、取付金具を目的の奥行きに再調整します。標準取付金具 (K) は2段階、延長 (調整) 取付金具 (L) は4段階の奥行き設定が可能です。
- 正しい奥行きに調整した後、ネジを25~35 in-lbs (2.8~4Nm) で締めます。



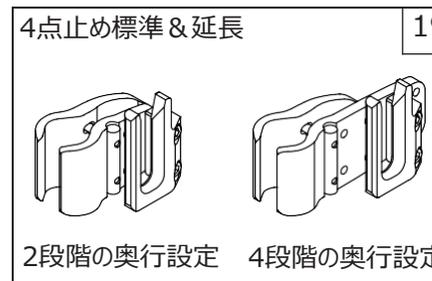
E. 点検



警告

すべての取付金具が推奨仕様に従って適切に締められていることを確認してください。

- バックサポートがロックされ、ロックピンがレシーバーに挿入されていることを確認してください。
- バックサポートの装着がスムーズで、しっかりと固定されているか、アセンブリの脱着を数回繰り返し確認してください。
- バックサポートを使用する前に、使用者のフィット感と快適さを再確認してください。
- この点検手順に従わない場合、怪我やバックサポートや部品の損傷につながる可能性があります。



A. バニティーフラップの取り付け（オプション） [20] [21] [22]

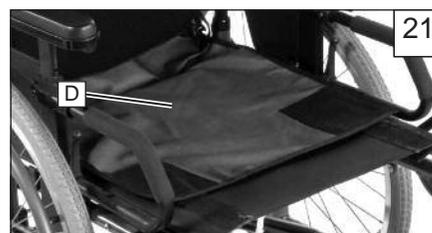
取付ける前に、以下の説明をお読みください。バニティーフラップを取り付ける場合は、使用者に車いすから一旦降りてもらってから始めると良いでしょう。バニティーフラップを取り付けてから、車いすにお戻りいただけます。

1. 上下取り付けフラップ [20]

- J3バックカバーの上部フラップ (A) を持ち上げます。
- 下部フラップ (B) をバックシェルに取り付けます (面ファスナー)
- 面ファスナーを留めて、バニティーフラップ (C) をJ3バックカバーの下部フラップの裏側に貼り付けます。
- 上下のフラップの間にバニティーフラップを挟むように、カバーの上部フラップの位置を調整してください。

**2. バニティーフラップ&クッション** [21] [22] [23]

- シートクッションを車いすから取り外し、バニティーフラップの「しっぽ」(D) を座シートとシートクッションの間に挟んでください。
- バニティーフラップ (D) を必要に応じて調整し、しっぽをシートクッションの下から出し入れします。必要に応じて、バニティーフラップの上部を、シート後部で上下させることができます。
- 車いす後部で、面ファスナーの紐を、バニティーフラップの適切なグロメットに通します (画像 22) (E) そして車いすのフレームに巻き付け、先端を面ファスナーのスロットエンドに入れます。バニティーフラップの外側の隙間を塞ぐことができます。

**B. 脊椎保持ポジショニングキット（オプション）** [24] [25] [26]

脊椎保持ポジショニングキットのポジショニングパーツは、「既製品」のバックサポートの中で形状を作るために設計されています。市場によっては、脊椎保持ポジショニングパーツがバックサポートに付属する場合があります。J3 バック 脊椎保持ポジショニングキットで使用できる代表的なポジショニングパーツを以下に示します。

ポジショニングパーツ	
ランバー (大)	
ランバー (小)	
ウェッジ	
カーブタイプ シム	
フラットタイプ シム	
ポステリア ラテラル ペルビック パッド	
ラテラル シム	
ビーンバッグ (大)	
ビーンバッグ (小)	



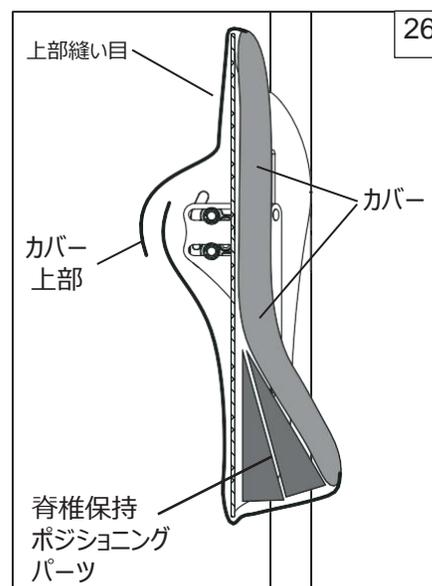
バニティーフラップの取付完了



1. 脊椎保持ポジショニングキットの取付方法 25 26

- 可能であれば、体を傾げるか、部分的に前方にスライドし、J3バックに掛かる圧力を減らしてください。
- カバー上部 (A) のベルクロを外し、カバーを前方に持ち上げて、J3 バックの内部が見える状態にします。
- ポジショニングパーツ (B) をシェル内側のベルクロ部分に取付け、カバー上部を戻します。上部の縫い目がシェルの上部に合っていることを確認しながら引き下げます。縫い目が揃わない場合は、カバーの底部を緩める必要がある場合があります。
- 現在の脊椎保持ポジショニングパーツの設定が快適か、サポートされているかを使用者に確認してもらい、調整が完了するまで手順a～cを繰り返してください。
- 脊椎保持ポジショニングパーツは、複数の構成や組み合わせで使用することができます。その他の脊椎保持ポジショニングパーツの形状やサイズが必要な場合は、販売店またはサンライズメディカルジャパン(株) (0480-31-6480) までご連絡ください。

注意- J3 脊椎保持ポジショニングキットシステムの詳細については、以下のサイトでアニメーションをご覧ください。www.sunrisemedical.com.



VIII. 保証

24ヶ月 サンライズ社 限定保証

1. JAY J3 バックは、最高のパフォーマンスを提供するために、1つ1つ丁寧に検品され、テストされています。JAY J3 バックは、通常の使用状態であれば、購入日から24ヶ月間、素材や製造上の欠陥がないことが保証されています。最初の購入日から24ヶ月以内に、材料または製造上の欠陥が生じた場合、サンライズメディカル社は任意で、無償で修理または交換いたします。パンク、破れ、焦げ、バックサポートの取り外し可能なカバーについては保証対象外です。

2. 申請や修理は、最寄りの正規代理店を通じて行ってください。ここに記載されている明示の保証を除き、商品適格性の黙示の保証、特定の目的のための適合性の保証を含む、その他すべての保証は除外されます。また、本書の表面上の記載を超える保証はありません。ここに記載されている明示の保証の違反に対する救済は、商品の修理または交換に限られます。いかなる場合も、保証の不履行に対する損害賠償は、結果的損害を含み、または販売された不適合商品の価格を超えないものとします。

